（C）日刊スポーツ新聞社

2014.7.23→2020.7.24

◆五輪メダリスト物語◆ 相原俊子「あいはら」と読む。64年東京大会体操女子団体総合銅。60年ローマ大会に続く出場でメダル獲得に貢献。63年ヒロータ大会金メダルの横行と結婚、夫婦で開いた体操クラブから誠、豊ら2人の息子も体操選手として育った

次回12月7日(水) ニャー!!猫ひろし ぶっちゃけリオ五輪

ソウル バルセロナ五競泳200㍍400個メ

私は今俳優をやっていただいていますが、88年ソウル、92年バルセロナ五輪に競泳200、400㍍個人メドレーで出場したオリンピアンでもあります。

ソウル五輪は高校生だったので、何が何だかわからないうちに事が進んでいたという感じでした。周りからメダルも期待されましたが、自分では絶対に無理だと思っていました。コーチと話して、ソウルは経験を積んで次を目指すという意識でのぞみました。

真田丸出演も水泳と五輪のおかげ

そうまして、広島での予選は、当時世界4位くらいの記録を出せたバルセロナ五輪400㍍では日本人初のファイナリストになって、コーチ陣もメダルへの期待があったのかもしれませんが、でも自分は「金メダルを取りたい」「世界一になりたい」と狙っていました。今思えばそこが間違いの始まりでした。

それまで予選はちょっと力を抜いて、力が余った状態で勝を戦っていました。でも五輪は朝の3時に起きて、午前中の予選に間準を合わせてしまったのです。予選で100㍍出ていたのが、その後最後をすれば大丈夫だと、ところが最後の100㍍で、「疲労が残っていたんだと思います」しかも「金メダルいらない」と思っていたので、最初のバタフライで飛ばしすぎて、最初の100㍍で出場したオリンピックでもあります。

五輪は特別な場で一言では表せません。自分が人生をかけてやってきたことを披露できる場所でした。それから水泳を始めたころ一緒に練習していた緒方浅生さんの存在も大きいです。中学生で当時の日本記録を持っていた緒方浅生さんが、調子が悪い時に涙を流していました。スーパースターでも苦しいんだ、「同じ人間なんだ」と思いました。今年は小河ドラマ、真田丸に出演させていただきましたが、あの経験がこの自分を作ってくれたと思います。やれはできるということを教えてくれたのは水泳であり、五輪は特別な場で一言では表せません。

リオ直後の目標は4年後100㍍ファイナリスト

9秒8台の先にある

8月リオ五輪　陸上男子400㍍リレー決勝で銀メダルを獲得し喜ぶ、左から山県、飯塚、桐生、ケンブリッジ

8月リオ五輪　陸上男子400㍍リレー決勝で桐生（左から2人目）からバトンを受け（ゴールへ向かう4走ケンブリッジ。右から3人目はボルト

隣ボルトに「勝ったら金」頭よぎった

リオ銅の4㍍リレー あらためて振り返る

リオ五輪で銀メダルを獲得した400㍍リレーをあらためて振り返った。アンカー務め、左隣にボルトがいた「50㍍は近くに来ていた」と感じていた。実はボルトと接触し、互いにバトンを落としかけた。

「走りに集中していて、鮮明に覚えていないですけど、当たったのは覚えています。『やばい』と思いました」

第3走者の桐生からバトンを受けた瞬間、金メダルを確信した。

「もちろん隣はボルトだと分かってましたけど、『これに勝ったら金メダルだ』と頭をよぎりましたね。本番になったらどこまでなら出るのかはわからないとすが、レースが近くなってくるとメダルを取りにいくという感じでしょうか。僕自身もすごく調子がよくて、リレーに関しても手応えを感じていました。『個人の予選でもメダルを取りにいける』と自信をもってきていた。

金メダルが手に届くところにあった。そう肌で実感した日本記録更新選手はケンブリッジ以外にはいないかもしれない。ケンブリッジ以外の舞台裏も明かしてくれた。

「桐生はYouTubeで映画『ワイルド・チャンプ』を観て、『これ、俺だ』と思ったらしいです。朝起きてYouTubeを見てましたね。本番になったらどこまでなら出るのかはわからないとすが、レースが近くなってくるとメダルを取りにいくという感じでしょうか。僕自身もすごく調子がよくて、リレーに関しても手応えを感じていました。『個人の予選でもメダルを取りにいける』と自信をもってきていた。

金メダルが手に届くところにあった。そう肌で実感した日本記録更新選手はケンブリッジ以外にはいないかもしれない。ケンブリッジ以外の舞台裏も明かしてくれた。

「桐生はYouTubeで映画『ワイルド・チャンプ』を観て、『これ、俺だ』と思ったらしいです。朝起きてYouTubeを見てましたね。本番になったらどこまでなら出るのかはわからないとすが、レースが近くなってくるとメダルを取りにいくという感じでしょうか。僕自身もすごく調子がよくて、リレーに関しても手応えを感じていた